

## 2016年度日本木材学会中部支部大会（石川）実施報告

石川県農林総合研究センター林業試験場 松元 浩、石田洋二

2016年度日本木材学会中部支部大会は、10月27日（木）、28日（金）に石川県で開催されました。

1日目は、金沢歌劇座（石川県金沢市）にて、12時から評議員会、13時から展示発表（22件）、14時15分から口頭発表（18件）が行われました。参加者は79名でした。展示発表は広い会場でパネルの間隔を広めに確保したことで隣の発表を気にすることなく討論できたのではないかと思います。口頭発表は2会場に分かれそれぞれ9件の発表でしたが、予定時間を超過するほど活発な討議がなされました。18時からは金沢東急ホテル（石川県金沢市）に場所を移して懇親会が開催されました。



展示発表の様子

参加者は50名でした。石川県農林総合研究センター林業試験場 坂口浩一郎場長の歓迎挨拶の後、名古屋大学 佐々木康寿支部長のご挨拶に続き、日本木材学会常任理事である京都大学 吉村 剛教授のご挨拶と乾杯のご発声で幕を開けました。吉村先生からは木材学会誌への積極的な投稿も呼び掛けられました。和やかなムードで寿司や日本酒などのメニューを楽しんでいただき、会の半ばで地域功労賞および優秀発表賞4件（口頭2件、展示2件）の表彰も行われました（受賞者は下記に示します）。優秀発表賞受賞の大学院生からは大変頼もしい発言が飛び出し、会はより一層盛り上がりました。最後に、次期開催県である福井県を代表して、福井県総合グリーンセンター 豊岡 正所長より次回福井大会のお誘いと中締めのごあいさつでお開きとなりました。



懇親会での吉村先生のご挨拶

2日目は中部地方では唯一のJAS認定CLT工場である株式会社中東（石川県能美市）を見学しました。参加者は52名でした。2班に分かれてCLT製造の様子や会社概要・納入実績などについて丁寧にご説明いただき、質疑応答も予定時間を超過するほど活発に行われました。

2日目は中部地方では唯一のJAS認定CLT工場である株式会社中東（石川県能美市）を見学しました。参加者は52名でした。2班に分かれてCLT製造の様子や会社概要・納入実績などについて丁寧にご説明いただき、質疑応答も予定時間を超過するほど活発に行われました。

大会期間中は、1日目は暑いほどの陽気となり、2日目も帰路に着くまでは雨に降られず、天候に



見学会の様子

恵まれました。また、時間の関係で口頭会場の後片付けを参加者の大学院生にお願いしたところ、快くお手伝いいただくとともに会場にいらっしゃった周りの先生方にもお手伝いいただきました。おかげさまで時間内にすべて片づけることができました。心より感謝申し上げます。なお、受付の際に不手際があり一部の方にご迷惑をおかけする場面がありました。この場をお借りしてお詫び申し上げます。何かと至らない点があったかと存じますが、全体としては参加者の皆様のご理解とご協力のおかげで何とか無事に終了することできたと思っております。ご参加いただいた皆様、見学会を快くお引き受けいただきました株式会社中東の皆様、誠にありがとうございました。

<地域功労賞>

岐阜県生活技術研究所 三井勝也氏

<優秀発表賞>

P01 ホワイトサイプレス材精油香気成分の肥満抑制効果について  
(岐大応生) ○服部浩之、松岡竜之介、松島那紗、光永 徹

P03 竹の流動成形によるスピーカー振動板の実用化に向けた研究  
～林地における竹素材の選定方法と樹脂含浸性向上のための前処理方法の検討～  
(産総研) 三木恒久、関 雅子、(京府大院生命環／産総研) ○桐生智明、  
(チヨダ工業(株)) 山田満雄、山田哲也、(名古屋木材(株)) 竹田 博、  
(愛知森林セ) 豊島 勲

A06 長期使用材の引張特性  
(名大農) ○中村祐太郎、山崎真理子、佐々木康寿

B09 過熱水蒸気炭化炉により作製した竹活性炭の電気二重層キャパシタ特性  
(静岡県工業技術研究所) ○菊池圭祐、櫻川智史、(サンコール(株)) 蓮見啓悟、  
向井康裕、小早川浩也、若林正二郎